

地 理

I 次の図1を見て、世界の自然環境と人間生活に関する以下の問い(問1～6)に答えなさい。解答は解答用紙にマークすること。

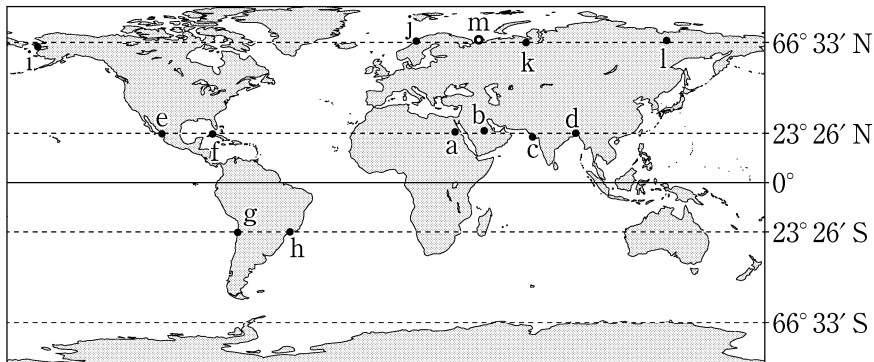
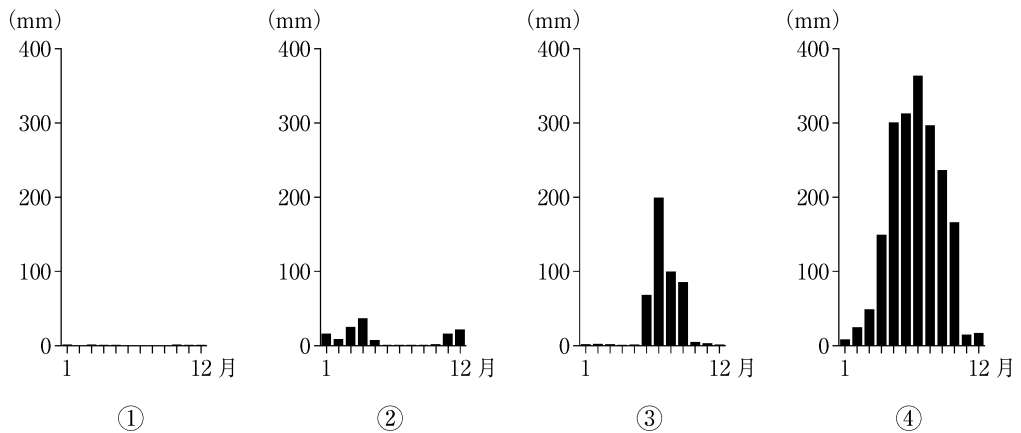


図1

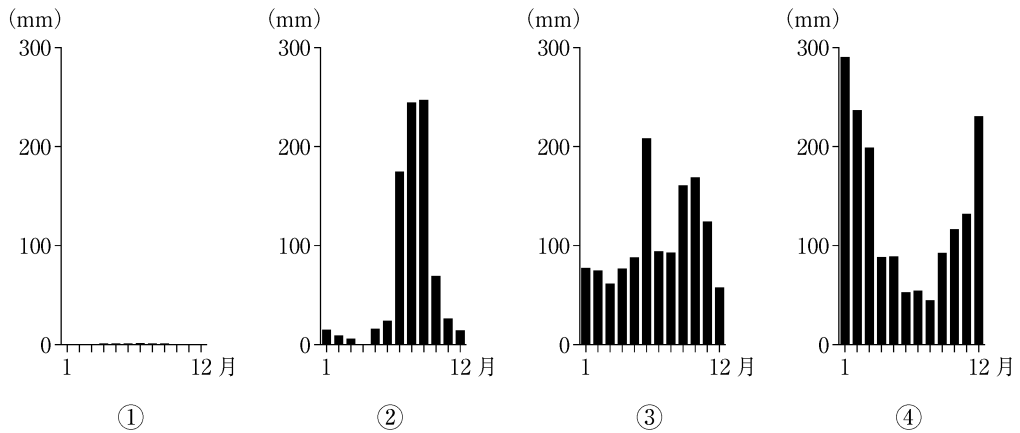
問1 次の図2は、図1中の北回帰線(北緯23度26分)付近に位置する地点a～d (a: アスワン, b: リヤド, c: ドワルカ, d: ダッカ)のいずれかの月降水量を示したグラフである。地点d(ダッカ)に該当する最も適当なものを、図2中の①～④のうちから一つ選びなさい。



気象庁の資料により作成。

図2

問 2 次の図 3 は、図 1 中の南北アメリカ大陸における北回帰線(北緯 23 度 26 分)と南回帰線(南緯 23 度 26 分)の付近に位置する地点 e ~ h (e : マサトラン, f : ハバナ, g : アントファガスタ, h : サンパウロ)のいずれかの月降水量を示したグラフである。地点 h (サンパウロ)に該当する最も適当なものを、図 3 中の①~④のうちから一つ選びなさい。



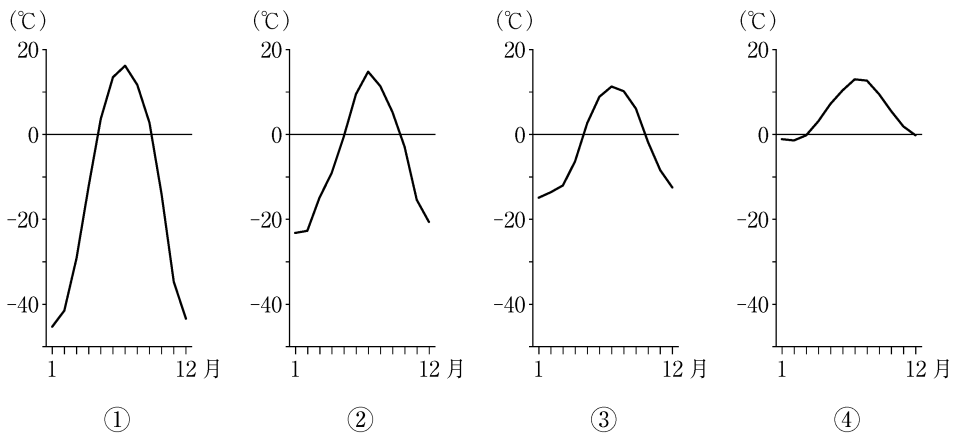
気象庁の資料により作成。

図 3

問 3 次の文章は、世界の砂漠の多くが南北の回帰線付近に形成される理由を説明したものである。文章中の下線部①~④のうちから、**適当でないもの**を一つ選びなさい。

太陽エネルギーを多く受ける赤道付近では上昇気流が発生して熱帯収束帯が形成されるが、そこで上昇した大気が南北の回帰線付近で下降することで亜熱帯高圧帯ができる。そのため回帰線付近では雨を降らす原因のひとつである①上昇気流が生じにくく、サハラ砂漠やグレートヴィクトリア砂漠などの広大な砂漠が形成される。回帰線付近でも②寒流が流れる大陸東岸沿いでは、下層の空気が冷やされることで③上昇気流がさらに生じにくく、ナミブ砂漠やアタカマ砂漠のように降雨のほとんど見られない砂漠が出現する。④

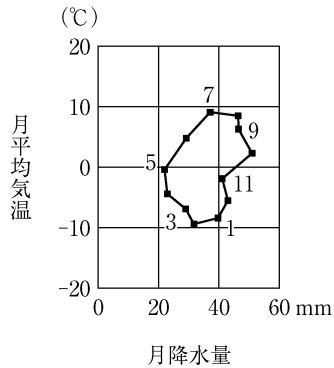
問 4 次の図 4 中の①～④は、図 1 中の北極圏の極線(北緯 66 度 33 分)の付近に位置する地点 i～l (i : ノーム, j : ボーデー, k : サレハルド, l : ヴェルホヤンスク)のいずれかの月平均気温を示したグラフである。地点 j (ボーデー)に該当する最も適当なものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選びなさい。



気象庁の資料により作成。

図 4

問 5 北極圏の極線付近の気候を詳しく調べるために、図 1 中の地点 m (カニンノス) のハイサーグラフ(図 5)を作成した。図 5 から、地点 m (カニンノス) はケッペンの気候区分ではどの気候区に該当すると判別できるか。下の①～④のうちから最も適当なものを一つ選びなさい。

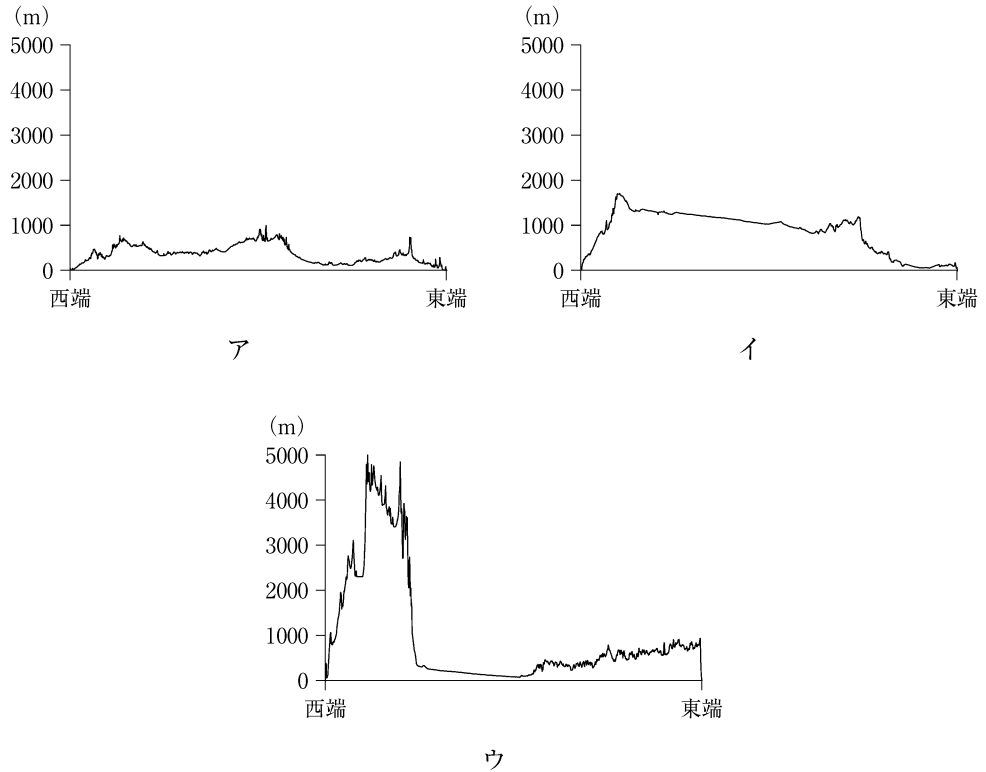


気象庁の資料により作成。

図 5

- ① Df ② Dw ③ ET ④ EF

問 6 次の図 6 中のア～ウは、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、南アメリカ大陸の南回帰線に沿った地形の断面図である。ア～ウの最も適切な組み合わせを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。



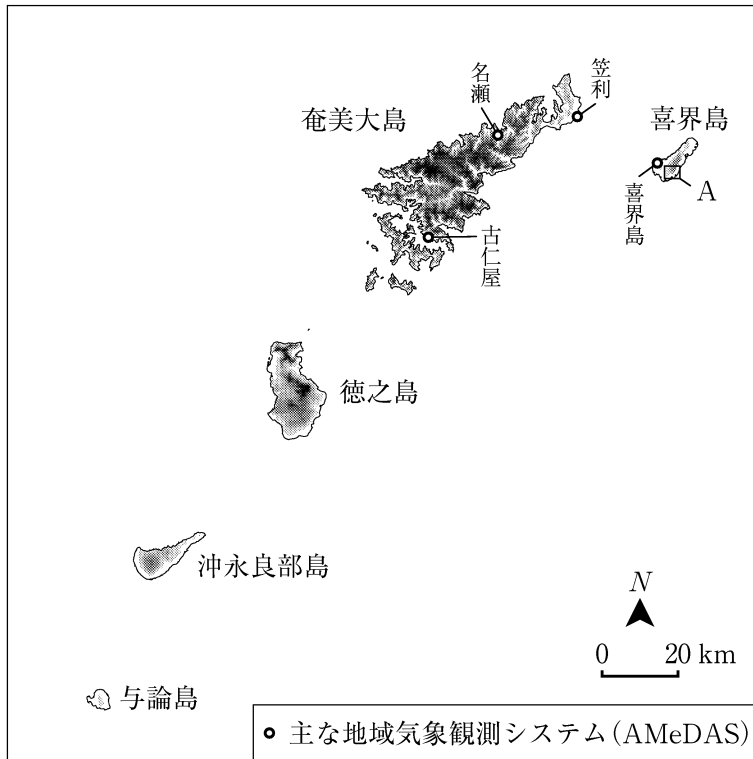
SRTM30(NASA)により作成。

垂直距離を強調している。水平距離は相対距離である。

図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
アフリカ大陸	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
オーストラリア大陸	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
南アメリカ大陸	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

Ⅱ 次の図1を見て、奄美群島の地誌に関する以下の問い(問1～6)に答えなさい。
解答は解答用紙にマークすること。



陸地では標高が高いほど濃色で表現した。

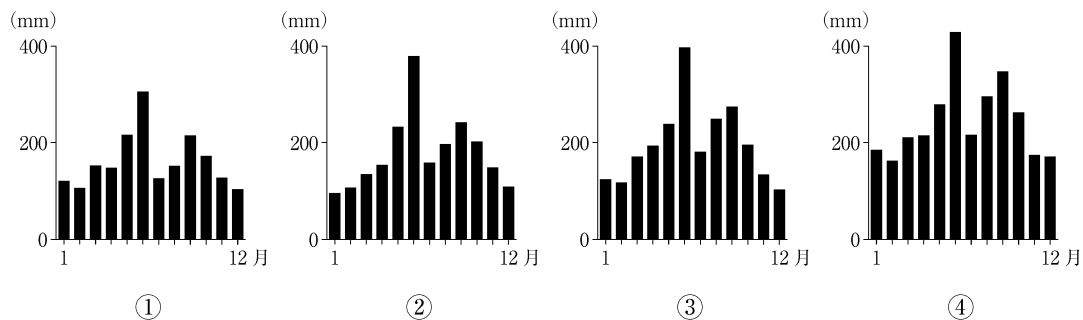
国土交通省国土数値情報により作成。

図1

問1 奄美群島の自然環境を説明した文章として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 奄美群島の西側の東シナ海を、黒潮(日本海流)の主流が北東方向に流れる。
- ② 海岸部の汽水域の一部にはマングローブ林がみられる。
- ③ 奄美大島や徳之島の山地帯には常緑広葉樹林が広がる。
- ④ 低地帯は主に隆起サンゴ礁石灰岩によって構成され、水はけがよいため、乾燥に強い硬葉樹がみられる。

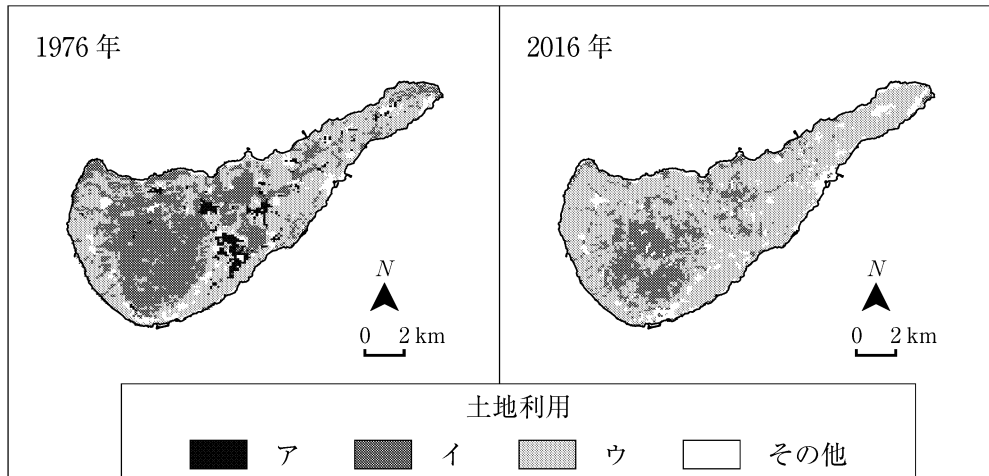
問 2 奄美群島の降水は地勢や季節風の影響を受ける。次の図 2 は、図 1 中に示した 4 地点(笠利, 喜界島, 古仁屋, 名瀬)の地域気象観測システム(AMeDAS)のいずれかの月降水量を示している。名瀬に該当する最も適当なものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選びなさい。



気象庁の資料により作成。

図 2

問 3 次の図3は、沖永良部島の土地利用(1976年, 2016年)を示している。図3中の凡例に示したア～ウの最も適当な組み合わせを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

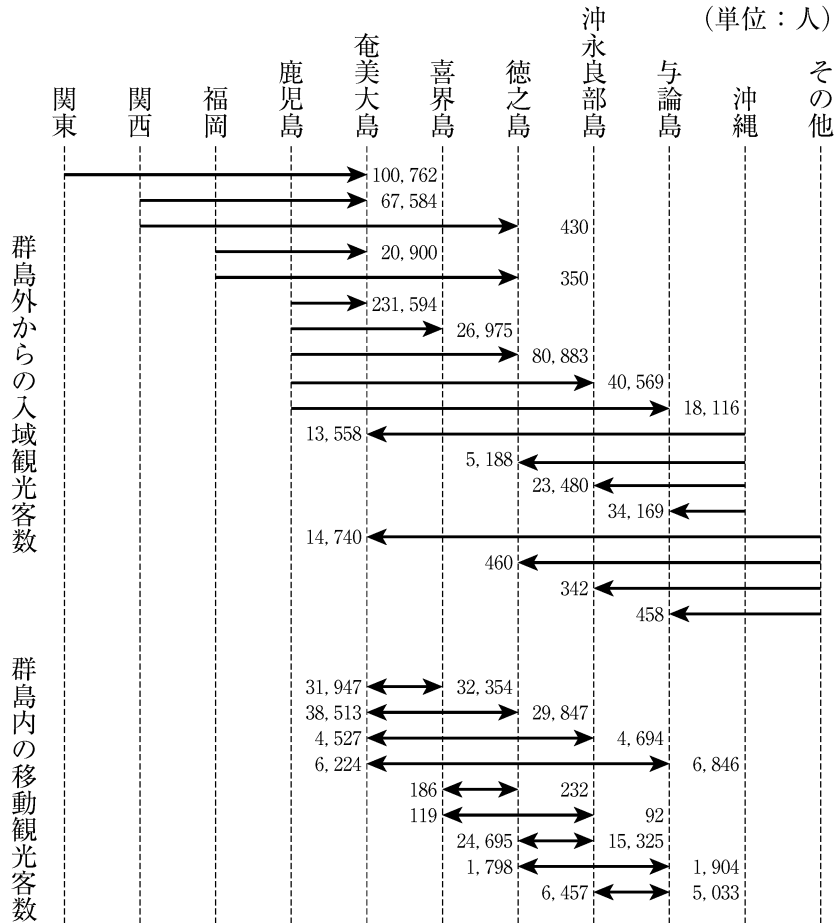


国土交通省国土数値情報により作成。

図3

	①	②	③	④	⑤	⑥
田	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
田以外の農用地	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
森林	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 4 次の図 4 は、2019 年に船や飛行機を利用して奄美群島へ入域した者の数と、群島内の島々を移動した者の数を示している。図 4 の説明として適当でないものを、次頁の①～④のうちから一つ選びなさい。



鹿児島県「令和元(平成 31)年奄美群島観光の動向」により作成。

図 4

- ① 2019年に群島外から奄美群島の島々に来訪した入域者は約68万人に達する。
- ② 鹿児島は奄美群島入域者の最大の発地であり、入域者全体の50%以上を占める。
- ③ 奄美群島外の各発地からの入島者が最も多い島は奄美大島で、群島外のすべての発地から最大の数が入島している。
- ④ 奄美群島内の移動では、奄美大島と各島間の移動が目立つが、その一方で徳之島—沖永良部島間、沖永良部島—与論島間などの近距離の島の間での移動も多い。

問 5 次の図 5 は、国土地理院発行の電子地形図 25000(2021 年 8 月作成, 原寸で縮尺 2 万 5000 分の 1, 一部改変, 図 1 中の A の範囲に該当)である。喜界島はサンゴ礁が隆起したサンゴ礁段丘の存在で知られており, 図 5 中の最上位段丘面は 12 万~10 万年前に形成され上昇が始まったとされる。図 5 の情報から求めることのできる最上位段丘面の年平均上昇距離に最も近いものを, 下の①~④のうちから一つ選びなさい。ただし, 12 万~10 万年前の海面の高さは現在と同じと仮定する。



図 5

- ① 0.2 mm ② 2.0 mm ③ 20.0 mm ④ 20.0 cm

問 6 次の図6は、国土地理院が1962年に発行した2万5000分の1地形図「喜界島南部」の一部(原寸、一部調整)で、図5と同じ範囲を示している。両図を比較した説明として**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

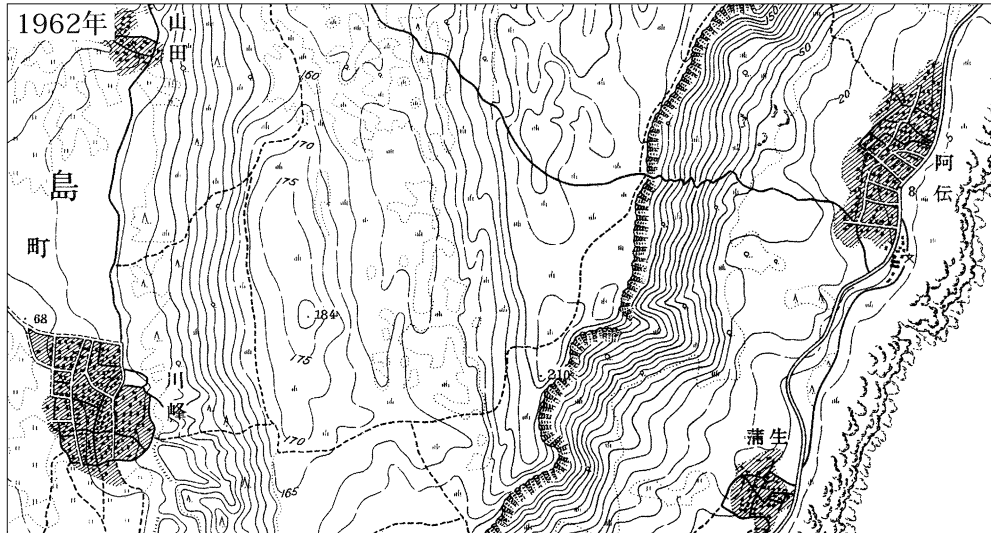


図6

- ① 最上位段丘面と第二段丘面は、かつて大部分が荒地だったが、現在ではかなりの面積が畑に開墾されている。
- ② 最上位段丘面から最下位段丘面の集落「阿伝」の方向には、かつて川が流れていたが、現在ではなくなっている。
- ③ かつていくつかの集落の周辺では田で稲作が行われていたが、現在はすべて畑に転用されている。
- ④ 海岸の開発は進まず、かつても今も岩礁のままである。

Ⅲ 次の文章を読んで、貿易に関する以下の問い(問1～10)に答えなさい。解答は解答用紙にマークすること。

貿易は、全ての国に、生産が相対的に得意な、比較優位を有する財(製品)を輸出⁽¹⁾し、生産が相対的に苦手な、比較優位を有さない財を輸入⁽²⁾する機会を与える。これにより貿易は、貿易に携わる全ての国に互恵的な恩恵をもたらすことができる。貿易は、各国に違いがあることにより起こる。具体的には、各国が有する生産技術・資源・生産開始時期などが違うことが原因で、比較優位を有する財が決まり、どの国がどの財を輸出し、輸入するののかという貿易パターン⁽³⁾が決まる。貿易パターンの変遷を詳しく見ると、各国の発展度合い、貿易自由化の進展に伴い姿を変えていく国際分業⁽⁴⁾体制の変化を垣間見ることができる。

第二次世界大戦後、貿易自由化の進展に寄与してきたのが、GATT(関税と貿易に関する一般協定)、そしてその後継組織であるWTO(世界貿易機関)であった。GATTの下では、加盟国の拡大と共に、主に鉱工業製品に対する関税の引き下げ⁽⁵⁾が実現された。その後、GATTを引き継いでWTO⁽⁶⁾が、財の貿易やサービス貿易⁽⁷⁾の自由化の推進役を担うようになった後、WTOの下での多国間交渉による貿易の自由化は、停滞期を迎える。2001年から始まった交渉(ドーハ・ラウンド)は、先進国と発展途上国の意見対立により、2021年時点でも最終合意に至っていない。近年、一向に進展しないWTOの下での多国間交渉による貿易自由化を諦めて、数か国間、もしくは数十か国間でFTA(自由貿易協定)やEPA(経済連携協定)⁽⁸⁾を締結する動きが活発になっている。日本は、最初はWTOの下での多国間交渉により貿易自由化を推進する立場を取っていたが、FTAやEPAを締結しないことによるデメリットが次第に顕在化すると、方針を転換した。日本は、2002年にシンガポールとEPAを締結したのを皮切りに、2021年1月時点までに21のEPA/⁽⁹⁾FTAに署名している。

貿易は、先述した通り、貿易に携わる全ての国に、互恵的な恩恵をもたらす。しかし、貿易の恩恵は平等にはもたらされない。貿易により生じた経済格差⁽¹⁰⁾にどう対処すべきか、貿易の自由化と共に考え、取り組まなければいけないという課題に我々は直面している。

問 1 下線部(1)について、次の表1は2019年の貿易総額(輸出額+輸入額)からみた日本の貿易相手国上位3か国である。2位の国と3位の国の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。ちなみに、日本の貿易相手国の上位3か国は2007年以降変動していない。

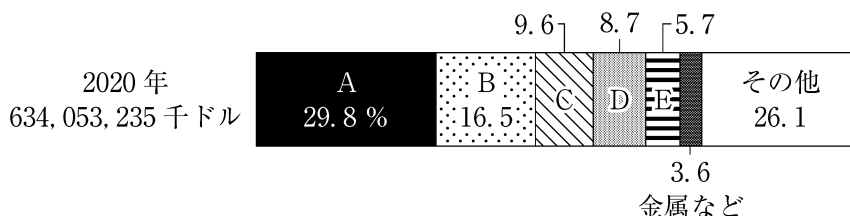
表1

順位	輸出額(1000円)	輸入額(1000円)	貿易総額(1000円)
1	14,681,945,384	18,453,731,118	33,135,676,502
2	15,254,512,762	8,640,165,267	23,894,678,029
3	5,043,824,194	3,227,103,585	8,270,927,779

財務省貿易統計により作成。

	①	②	③	④
2位	中国	中国	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国
3位	韓国	インド	インド	韓国

問 2 下線部(2)について，次の図 1 は 2020 年の日本の輸入総額に占める輸入品の割合を示している。図 1 中の A (輸入品第 1 位) と B (輸入品第 2 位) の最も適当な組み合わせを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。ちなみに，輸入品の 1 位と 2 位は 2015 年以降変動していない。



財務省貿易統計と JETRO の資料により作成。

図 1

	①	②	③	④
A	機械類	機械類	鉱物性燃料 (原油及び粗油, 液化天然ガス等)	鉱物性燃料 (原油及び粗油, 液化天然ガス等)
B	鉱物性燃料 (原油及び粗油, 液化天然ガス等)	食料品	機械類	食料品

問 3 下線部(3)について、次の表2はある国の2018年の品目別輸出額と輸出総額に占める割合である。これに該当する最も適当な国を、下の図2中の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

表2

品目	輸出額(ドル)	シェア(%)
食料品及び動物(食用)	20,380,896,134	4.5
鉱物性燃料(原油及び粗油, 液化天然ガスなど)	237,851,242,602	52.7
化学製品	22,069,403,946	4.9
工業製品	59,612,217,192	13.2
機械類及び輸送用機器	20,610,862,006	4.6
その他	94,813,913,915	20.1

UN Comtrade により作成。

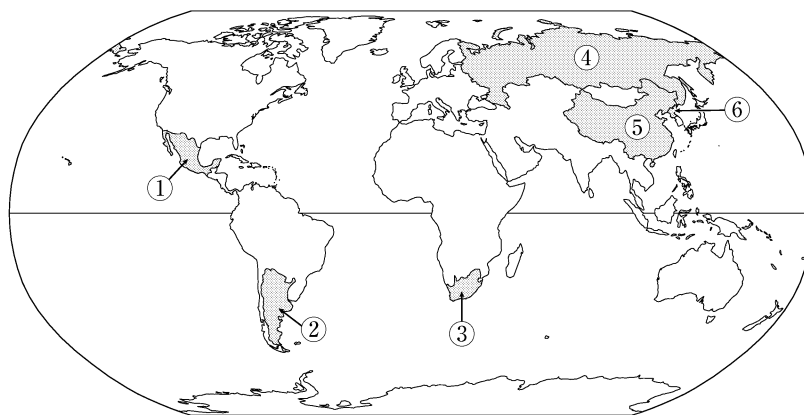


図2

問 4 下線部(4)について、水平分業の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 発展途上国が輸出する原材料から、先進国が工業製品をつくって輸出する国際分業関係のことを指す。
- ② 高度な技術が必要な部品のみを先進国で生産し、その他の部品は発展途上国で生産して、それらの部品を消費地で最終的に組み立てる国際分業関係のことを指す。
- ③ 国と国が、相互に工業製品を輸出し合う国際分業関係のことを指し、近年、先進国と発展途上国の間で増加している国際分業関係である。
- ④ 製品の製造のみを先進国で行い、アフターサービスなどの業務を外国の企業に委託する国際分業関係のことを指す。

問 5 下線部(5)について、GATTにも加盟せず、その後継組織であるWTOにも2021年1月時点で加盟していない国として最も適当なものを、図2(問3中)の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

問 6 下線部(6)について、WTO(世界貿易機関)の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 加盟国は、他の全ての加盟国を差別することなく扱う最恵国待遇義務を負うため、一部の加盟国同士のみで締結する自由貿易協定を締結することは認められていない。
- ② 協定違反を訴えられた加盟国に対し、加盟国の全会一致がないと、罰則が下されることはない。
- ③ 加盟国は、急激な輸入量の増加によって国内産業に重大な損害などを与えた、または与える恐れがある場合、関税引き上げ・輸入数量制限などの措置を講じることができる。
- ④ 加盟国は、不当に安い輸入品に対して相殺関税を課す、もしくは輸入数量制限を課すセーフガードを発動することができる。

問 7 下線部(7)について、サービス貿易の事例として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 韓国の企業が販売する韓国アイドルの日本公演のコンサートを、チケットを購入して観に行く。
- ② 日本から韓国のソウルに行き、韓国の旅行会社が提供する韓国ドラマのロケ地を巡る旅行ツアーに参加する。
- ③ 韓国のインターネットサイトで販売している韓国アイドルのグッズを、日本から購入する。
- ④ 韓国の語学学校が提供する有料のオンラインのハングル講座を、日本で受講する。

問 8 下線部(8)について、2021年1月時点で日本と2国間EPA(経済連携協定)を締結している国を、図2(問3中)の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

問 9 下線部(9)について、日本も参加予定の地域的な包括的経済連携(RCEP)協定に、2021年の1月時点で既に署名し、参加予定の国として最も**適当なもの**を、図2(問3中)の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

問10 下線部(10)について、発展途上国支援の手段として用いられるODA(政府開発援助)の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 日本の2020年のODA実績額は、支出純額ベースで世界第1位であった。
- ② ODAには、無償援助のほかに、資金を貸し付ける借款や技術援助などがある。
- ③ 日本のODAは、アジアへの出資が最も多いが、近年は中東やアフリカへの出資も多くなってきている。
- ④ 日本の中国に対するODAは、2018年度で新規採択は終了した。

Ⅳ 次の文章を読み、南アジアとそれに関連する国々の地誌に関する以下の問い(問1～10)に答えなさい。解答は解答用紙にマークすること。

インド半島を中心に広がる南アジアは、北にヒマラヤ山脈⁽¹⁾、その南部にヒンドスタン平原、その西部に大インド砂漠やインダス平原、そしてインド半島中部から南部にかけてはデカン高原⁽²⁾が広がる広大な地域である。さらにインド半島の南に展開するセイロン島⁽³⁾やモルディブ諸島⁽⁴⁾などの島々を含む。

歴史的には、古代にインダス文明が発展し、数々のインド王朝が交代したが、近代以降はヨーロッパによる植民地主義が大きく影響した地域である。15世紀末のポルトガル人ヴァスコ＝ダ＝ガマによるカリカット(コジコーデ)⁽⁵⁾来訪以降、アジア貿易の拠点としてポルトガルのみならずイギリスやフランスも相次いでこの地域の経営に乗り出した。特に、17世紀以降のイギリス東インド会社によるインド経営の歴史は、イギリスによる支配を強化する過程であった。

インドのイギリス本国からの独立は戦後の1947年であるが、これはインド単一の独立ではなくインドとパキスタンの分離独立⁽⁶⁾であった。現在インドには13億人以上の人々が住み、多くの言語や宗教が認められる。インドの連邦公用語はヒンディー語で、準公用語として英語が普及しているが、このほかに多くの主要言語や地方言語が存在する多言語社会である点の一つの特徴である。主要な宗教はヒンドゥー教⁽⁷⁾であり、ヒンドゥー社会では厳格な身分制度が今日でも社会に根付いている。しかし、言語同様に多くの宗教が併存しており、ヒンドゥー教以外の代表的なものとしてイスラームや仏教、ジャイナ教、シク教などがある。またキリスト教の信仰者も一定数いる。

インド国土の約半分は耕地であり、地域ごとに特徴的な農業が営まれている。例えば、稲作が盛んな地域としてガンジス川中下流域やインド半島の東岸・西岸平野部⁽⁸⁾、茶生産が盛んな地域としてアッサム地方、ある穀物の生産が盛んな地域としてガンジス川上流からインダス川上流にかけての一带がある。

近年のインド経済は成長が著しく、南アジア諸国⁽⁹⁾の中心的経済の地位を担い、いわゆる BRICS と称される新興国群の一つに数えられる。農業中心経済からの工業化も進展しており、1990年代から経済自由化の波が押し寄せ、海外からの直接投

資を受け入れ始めている。伝統的なジュート工業や鉄鋼業だけでなく、近年は⁽¹⁰⁾ICT・ソフトウェア・半導体産業も発展しており、バンガロールはその一大地域である。

問 1 下線部(1)について、ヒマラヤ山脈に関して説明した文章として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ヒマラヤ山脈には、アジアだけでなく世界でも最高峰のエヴェレスト山が位置している。
- ② エヴェレスト山の山頂は、ネパールと中国の両国国境に位置している。
- ③ ヒマラヤ山脈は、ブータン、中国、インド、ネパール、バングラデシュの5ヶ国の領域にわたっている。
- ④ ヒマラヤ山脈の造山活動は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートとがぶつかって隆起したことによるもので、このような衝突帯の代表的な山脈である。

問 2 下線部(2)について、デカン高原には肥沃な土壤レグールが分布するため綿花の栽培が盛んであるが、レグールは、ある岩石や堆積物が風化してできた土壤である。その岩石や堆積物として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 珪藻土 ② 玄武岩 ③ 石灰岩 ④ 泥岩

問 3 下線部(3)について、セイロン島が領土と一致する国について説明した文章として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 1980年代から四半世紀にわたり、シンハラ人とタミル人との間で民族対立が続いてきたが、2009年に政府軍による内戦終結をみて復興が進んでいる。
- ② この国の首都はイギリス統治時代から首都として機能している。
- ③ セイロン島における茶の生産は世界的に有名である。
- ④ 対外関係においては中国との関係性が強く、例えば国別経済支援の寄与度では2019年時点で日本や欧米ではなく、中国が首位である。

問 4 下線部(4)について、モルディブ諸島およびモルディブ共和国に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① モルディブ諸島の島々の周囲にはサンゴ礁が発達している。環礁もみられる。
- ② モルディブ諸島はおよそ1,200の島々からなり、島々は東西に長くわたっている。
- ③ モルディブ共和国では、シク教徒が国民の大半を占める。
- ④ モルディブ諸島はインド・オーストラリアプレートがホットスポット上を移動した際に形成された火山列島で、現在も活火山が存在する。

問 5 下線部(5)について，図1中の都市 a～d はインド国内の人口規模上位4都市（首都を除く）である。都市 a～d のうちカリカット（コジコード）に距離的に最も近い都市 a の都市名として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。

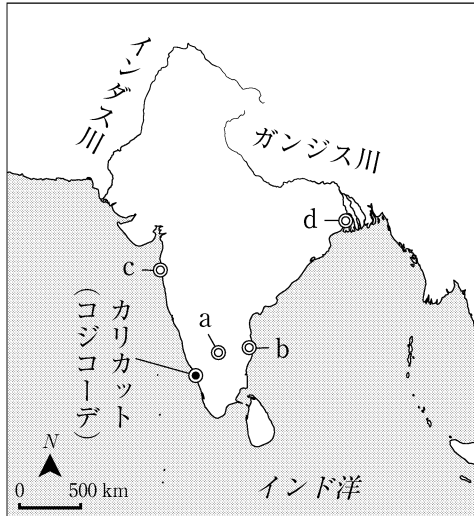


図1

- | | |
|----------|--------|
| ① チェンナイ | ② ムンバイ |
| ③ バンガロール | ④ コルカタ |

問 6 下線部(6)について、これら両国およびその周辺地域の国内外の対立を説明した文章として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 分離独立後、両国はカシミール地方の領有権をめぐる印パ戦争(インド・パキスタン戦争)を開始した。
- ② 両国が分離独立に至った大きな背景の一つに、ヒンドゥー教徒と仏教徒の対立構造を利用した植民地支配が、独立運動へと先鋭化したことがあげられる。
- ③ 分離独立時には、パキスタンの一部であった西パキスタンは、1971年にバングラデシュとしてパキスタンからさらに分離独立した。
- ④ インドの領土紛争は、中国との間でも1990年代以降、深刻な国境紛争を経験している。

問 7 下線部(7)について、インドの宗教に関して説明した文章として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① インドの国教はヒンドゥー教と定められ、国民の約8割が信仰している。
- ② イスラームは、インドから分離独立したパキスタンに多くの信徒を擁するが、インド国内にもおよそ1億5千万人程度の信者がいるとされている。
- ③ シク教は、近年の信者数は2千万から3千万人程度とされる。有名な黄金寺院がアムリットサルにある。
- ④ キリスト教は、インド南西部のケーララ州を中心に近年の信者数は3千万人程度とされる。歴史的に伝道師が宣教に来たことで流布したとされている。

問 8 下線部(8)について、ガンジス川流域の気候・風土では栽培に向かない作物として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① さとうきび ② バナナ ③ なつめやし ④ ジュート

問 9 下線部(9)について、次の表1は南アジア諸国について各指標をまとめたものである。表中の空欄(~)に入る語句や数字の組み合わせとして最も適当なものを、下の①~⑥のうちから一つ選びなさい。

表1

国名	人口	1人あたり 国民総所得	経済成長率	国土面積
	2016年 (百万人)	2016年 (ドル)	2016年 (%)	(万 km ²)
インド	1,324.2	1,680	7.1	329
スリランカ	21.2	3,780	4.4	7
ネパール	29.0	730	<input type="text" value="ア"/>	15
パキスタン	193.2	1,510	5.7	80
バングラデシュ	163.0	1,330	7.1	15
<input type="text" value="イ"/>	0.8	2,510	6.2	<input type="text" value="ウ"/>
<input type="text" value="エ"/>	0.4	7,430	4.1	0.03

World Development Indicators により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	7.0	7.0	7.0	0.6	0.6	0.6
イ	モルディブ	ブータン	モルディブ	モルディブ	ブータン	ブータン
ウ	4	16	16	4	4	16
エ	ブータン	モルディブ	ブータン	ブータン	モルディブ	モルディブ

問10 下線部(10)について、インドの経済と工業化に関する説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 英語や理数系分野に堪能なインド人材の中には、近年では大学に進学したり欧米に留学したりする者も増え、このような先進産業を支える人的資源として活躍している。
- ② ICT・ソフトウェア産業においては、デリーの地位は完全に失墜し、バンガロールとムンバイの独占状態にある。
- ③ 農業近代化のプロセスを「緑の革命」と呼ぶのに対して、このような労働者のなかでも教育を受けたホワイトカラー層が雇用される先進産業の急速な進展を「白い革命」と呼ぶ。
- ④ 先進的な ICT・ソフトウェア・半導体産業においても、ヒンドゥー社会の身分制の影響力は強固で、特定身分階級の雇用は社会的禁忌とされているため、有能であっても特定のジャーティに出自を持つ人材の雇用は制約を受けている。